

知事に搬入即時中止を要請！

署名1万を提出

- ・11月28日「市民の会」は、10,224筆の署名を添えて要請書を知事に提出した。
- ・知事の回答を要請したところ、12月議会終了後、今年中に回答するとのこと。
- ・当初1時間半の予定が県側の一方的都合で、30分に短縮されたため、改めて時間を取ることにした。



以下「市民の会」と課長のやりとり

セシウムの搬入は、経済行為??!

群馬県伊勢崎市の「第3期最終処分場」の排水から、国の基準を超える放射性セシウムを検出したと発表した。処分場では下水汚泥などの焼却灰を埋め立てており、雨水にセシウムが付着して流れ出た可能性があるという。最終処分場の排水から基準を超えるセシウムが出たのは全国初という。市は利根川への放水を一時停止した。

毎日新聞 九月二十日

Q:伊勢崎では排水からセシウムが出ている。私たちの水道の水源地にどんどんセシウムを入れているが、将来どうなるのか、しかも県からの説明が一切ないことが最大の不安。水源地にセシウムを埋め立てても構わないと、知事が判断したということか？

A:搬入は、国が6月に示した「放射性廃棄物の処分についての考え方」に基づいた搬出方と受け入れ方で行われている経済行為で、私どもはそれをどうこう言う権限は持っていない。事業者には自主管理規定を作り、受け入れるように指導している。

Q:8000ベクレルまでという国の「考え方」を受けて、山形県は4000、横浜は3500までなら埋めると判断した。また、埋め立てをしていない県も多い。そういう中で、8000ベクレルまでは水源地でも埋めるとする県の判断は誰がしたのか？

A:行政としては入れるとか入れてはいけないとかという判断はしていない。他県の状況はわからない。(セシウムで汚染された)汚泥や焼却灰は受け入れてもらいたい。受け入れるというのは経済行為だ。

参加者からは「県民の飲料水の安全より、経済行為を優先するのか」など怒りの発言が相次ぎました。

搬入中止働きかけを四市の市長に要請！



- ★市民の安全のために処分場への放射性物質の搬入中止を関係機関に働きかけてください
- ★地元説明会を開くよう県に要請してください
- ★汚染ゴミ焼却炉の排煙のセシウムを調べて下さい
- ★東京電力と国に対して責任を持って放射性物質を処分保管するよう要請してください

11月21日袖ヶ浦、24日富津、25日君津、28日木更津の各市長と、「市民の会」が上記のような要請を行いました。

各市長からの回答は

- ・国がちゃんとやってくれないと困る
- ・小櫃川を水源とする広域水道事業団に関係する4市で協議する
- ・県内3箇所ある処分場の市の担当者と連絡調整する
- ・焼却炉の煙は調査する

ドイツの放射線防護協会が11月27日「何もしないで放射性物質の汚染を許している」と日本政府の対応を批判しました。8,000ベクレル以下なら埋めて良い、とか500ベクレル以下なら食べても良い、というのは国際的には考えられないことです。

東電と国は、セシウムの閉じこめに責任を負うべきです。

署名は連絡下されば頂きに伺います。もしくは下の住所に郵送下さい。この活動は、ボランティアとカンパで支えられています。ご協力をお願い致します。

カンパは郵便局口座 00140-0-405615
(小櫃川の水を守る会)宛に、「署名カンパ」と書いてお送り下さい。

署名 16,000 筆 突破！ あと 19,000 筆 集めて 次の知事交渉で、搬入中止を！

「放射性物質から生命を守る市民の会」

代表 山田周治 〒299-1108 君津市練木 110 0439-32-4797

現在、15の団体と91人の個人会員です。周りの方におすすり下さい。

署名等の連絡先	293-0058 富津市佐貫 250	宮 則夫	0439-66-1760
	299-1106 君津市中島 230-8	佐々木悠二	0439-32-2197
	292-0801 木更津市請西 4-4-27	金井 珠美	0438-30-1161
	299-0257 袖ヶ浦市神納 2977	関 巖	0438-62-0492